

メルシーますみ 四月
「シバザクラ」コンサート

(オカリナ演奏)

- ① また君に恋してる
- ② 手紙く拝啓十五の君へ



春が来た (明治四十三年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

春が来た 春が来た どこに来た
山に来た 山に来た 野にも来た
花がさく 花がさく どこにさく
山にさく 山にさく 野にもさく
鳥がなく 鳥がなく どこで鳴く
山で鳴く 山で鳴く 野でも鳴く

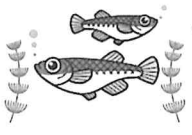


めだかの学校 (昭和二十六年)

作詞・茶木滋 作曲・中田喜直

めだかの学校は 川のなか
そつとのぞいて みてごらん
そつとのぞいて みてごらん
みんなでおゆうぎ しているよ

めだかの学校の めだかたち
だれが生徒か 先生か
だれが生徒か 先生か
みんなで げんきに あそんでる



花 (明治三十三年)

作詞・武島羽衣 作曲者・滝廉太郎

春のうららの 隅田川 (すみだがわ)
のぼりくだりの 船人が
權(かい)のしずくも 花と散る
ながめを何に たとうべき



見ずやあけぼの 露(つゆ)あびて
われにも言う 桜木(さくらぎ)を
見ずや夕ぐれ手をのべて
われさしまねく 青柳(あおやぎ)を



せんせい (昭和四十七年) 歌・森昌子

作詞・阿久悠 作曲・遠藤実

淡い初恋 消えた日は
雨がしとしと 降っていた
傘にかくれて 棧橋で
ひとり見つめて 泣いていた
おさない私が 胸こがし
慕いつづけた ひとの名は
せんせい せんせい それはせんせい



くちなしの花 (昭和四十八年) 歌・渡哲也

作詞・水木かおる 作曲・遠藤実

いまでは指輪も まわるほど
やせてやつれた おまえのうわさ
くちなしの花の 花のかおりが
旅路のはてまで ついてくる
くちなしの白い花
おまえのような 花だった



わがままいっては 困らせた
子供みたいなあの日のおまえ
くちなしの雨の 雨の別れが
今でも心を しめつける
くちなしの白い花
おまえのような 花だった

故郷 (ふるさと) (大正三年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

兎(うさぎ)追いし かの山
小鮒(こぶな)釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき 故郷(ふるさと)

如何(いか)に在(い)ます 父母
恙(つつが)なしや 友がき
雨に風に つけても
思い出(い)ずる 故郷
(最後二行 繰り返し)

